

インターネットを利用した配信サービスなどの普及に伴い、様々な映像コンテンツを楽しみたいというニーズに応えるため、テレビ (TV) や、ブルーレイディスクレコーダ、パソコン (PC)、タブレットなどの高機能化が進展しています。世代や地域などで多様化する市場ニーズに適確に応えていくため、2011年4月に、TV事業とPC事業を統合してデジタルプロダクツ&サービス社が発足し、デバイスの垣根を越えた新しい映像コンテンツの楽しみ方を提供できる商品づくりに鋭意取り組んでいます。

2011年は、レグザやレグザブルーレイと連携して番組や録画コンテンツを高画質で視聴できる、世界最薄かつ最軽量のレグザタブレット AT700^(注)や、薄型・大型TVの世界的な普及に合わせ、高画質映像と専用眼鏡なし (グラスレス) で3D (立体視) 映像を大画面で視聴できるレグザ55X3^(注)、ウィンドウ画面にグラスレス3D映像と2Dコンテンツを同時に表示できるグラスレス3DノートPC dynabook™ Qosmio™ T851^(注)を商品化しました。また、成長著しい新興国向けには、ユーザーや地域のニーズに合わせたローカルフィット商品を提供しました。更に、今後の市場拡大が予想されるノートPCの新カテゴリー “Ultrabook™ (ウルトラブック)” に対応したdynabook R631^(注)を商品化するとともに、様々なコンテンツやサービスを提供する “Toshiba Places” や “レグザAppsコネクト” のようなプラットフォームの開発を積極的に進めています。

今後も先進的技術の開発を続けることで、新たな価値や楽しさ、便利さを実現する新商品を提供していきます。

(注) ハイライト編のp.2-4に関連記事掲載。

統括技師長 安木 成次郎

● 法人向け 薄型ノートPC dynabook R741/R751

法人向けノートPCの新しいラインアップとして、薄型化技術を駆使したdynabook R741 (14.0型画面) とdynabook R751 (15.6型画面) を商品化した。

薄型、軽量、及び堅牢 (けんろう) 性を追求した製品にすることで、社内モバイルPCとしても利便性を向上した。薄型・軽量化による堅牢性の低下を防ぐため、筐体 (きょうたい) 素材に、プラスチックにガラス繊維を混ぜた高剛性樹脂を用いることで、押し圧やねじれに対する強度を従来製品と同等に維持した。更に、薄型モデルでありながらLANやRGB (Red, Green, Blue) コネクタなど法人向けノートPCとして求められるI/O (Input/Output) ポートも装備し、ポート拡張ユニットを使うことで最大で4画面同時表示をできるようにした。



dynabook R741/R751

dynabook™ R741/R751 notebook PCs for enterprise use

● オールインワンAV PC dynabook REGZA PC D731

dynabook REGZA PC D731は、レグザで培った映像技術を元に色あいや輝度などをきめ細やかに調整することで、液晶TVに迫る映像表示を実現した液晶一体型AV PCである。

ブランド名を “REGZA PC” に変更し、液晶ディスプレイ (LCD) を23型フルHD (1,920×1,080画素) に大型化するとともに、オンキヨー (株) 製スピーカにサブウーファを追加して厚みのある低音再生を実現することで、AV機器としての性能を拡充させた。

また、電源がオフの状態でもすぐにTVが視聴できる “今スグTV” 機能を搭載したほか、声やハンドジェスチャによる指示でPCを操作できる “てぶらナビ” を搭載することでユーザーの利便性を向上させている。



dynabook REGZA PC D731

dynabook™ REGZA D731 all-in-one audiovisual (AV) PC

● 新興国市場向け ノートPC Satellite C600



Satellite C600
Satellite C600 notebook PC for emerging markets

成長著しいインドなど、新興国市場の現地ニーズに合わせたノートPC Satellite C600を商品化した。

既存機種の設計を活用した筐体や部材の共通化と低コスト部品の採用により、低コスト化を実現し、ユーザーのすそ野を広げた。また、大音量で動画を楽しみたいという現地ニーズに応え、スピーカを改善し、当社独自の音響効果ソフトウェアを採用することで、音量及び音質の改善を実現した。更に、防塵（ぼうじん）対策を施したキーボードカバーの搭載など差別化を図った。

インド市場では、当社の主力商品として、市場シェア向上に貢献した。

● 新興国市場向け 高画質TV “Power TV” PS20/PB20シリーズ



REGZA Power TV 46PS20
REGZA Power TV PS20 series liquid crystal display (LCD) TV for emerging markets

ASEAN（東南アジア諸国連合）地域向けのブランドである“Power TV（パワーテレビ）”に新ノイズ低減技術“Auto Clean”を搭載し、いっそうの高画質化を実現したPS20/PB20^(注)シリーズ6機種（46V型、40V型、32V型）を商品化した。

RF（Radio Frequency）ブースタを搭載した従来のPower TVに対し、超解像技術に近い新たなノイズ低減技術を採用した。これにより、電界強度50 dB μ 程度の弱電界地域でも本来の絵柄の精細感を失うことなく、平坦な部分のノイズを除去することで残像感なく映像を視聴できる。また、46V型をラインアップに加え、大型モデルを拡充した。

更に、PS20シリーズでは、薄型狭額ベゼル（17 mm）を採用し、スタイリッシュで高級感のある造形とした。

(注) バックライトにPS20シリーズではLED（発光ダイオード）を、PB20シリーズはCCFL（冷陰極管）を使用。

● タイムシフトマシン搭載3D対応液晶TV レグザ ZG2シリーズ



デジタルハイビジョン液晶TV レグザ 55ZG2
REGZA 55ZG2 digital high-definition three-dimensional (3D) LCD TV

最大で6チャンネル、過去約30時間分の地上デジタル放送番組を一時保管することができる3D対応液晶TV レグザ ZG2シリーズを商品化した。

新開発の高画質映像処理システム“レグザエンジンCEVO Duo”を搭載し、その高速演算処理能力を生かして高画質3D映像だけでなく、同一時間帯の複数チャンネルを一時保管する機能“タイムシフトマシンCEVO”を実現した。

専用の地上デジタルチューナを6個搭載し、設定により最大で6チャンネルの過去約30時間分の番組を大容量HDD（ハードディスクドライブ）に一時保管できる。録画した番組を過去番組表として表示し、見忘れた番組でも簡単に検索し、見たいときに自由に選んで視聴することができる。

● レグザサーバー DBR-M190

6チャンネル分の地上デジタル放送を毎日録画して一時保管することができるタイムシフトマシンを搭載した“レグザサーバー DBR-M190”を商品化した。

タイムシフトマシン用に4T(テラ:10¹²)バイトの、通常録画用に1Tバイトの大容量HDDを搭載し、MPEG-4 AVC (Moving Picture Experts Group-Phase4 Advanced Video Coding) による圧縮を併用することで、地上デジタル放送を6チャンネル分、15日間録画して一時保管できる。通常録画機能としても同時に2番組録画できる“W録”機能を搭載し、タイムシフトマシンでの録画以外に、地上・BS(放送衛星)・110度CS(通信衛星)デジタル放送の中から2番組を同時録画できる。これにより、タイムシフト録画と通常録画を併せて最大8チャンネルの同時録画が可能になっている。

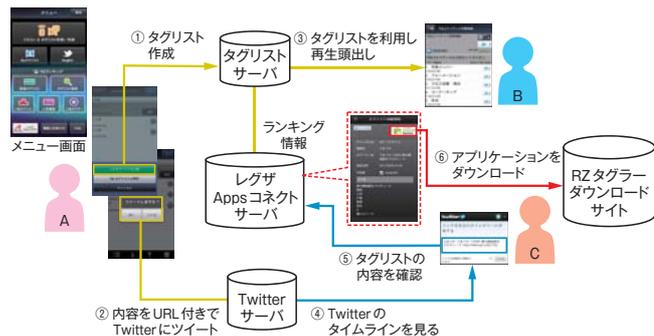


レグザサーバー DBR-M190
REGZA server DBR-M190 Blu-ray Disc™ recorder

● レグザAppsコネクト“RZタグラー”

レグザAppsコネクトは、当社製テレビやレコーダと、クラウド上のサーバに集約された膨大なデータを、タブレットなどのアプリケーション(Apps)を使って有機的に結びつける新システムである。

そのAppsの一つであるRZタグラーは、タッチリモコン機能に加え、録画番組の再生中に、他のユーザーがインターネットに公開した頭出し情報(タグリスト)を検索し、選択した場面から再生させることができる。動画時間情報とネットコメントのリンクを実現するコア技術“タグリストシェアサービス”, SNS (Social Networking Service), 及びタグリストの人気ランキング機能“RZランキングサービス”の連鎖により、当社製品でつながったユーザーどうしの積極的なコミュニケーションの場を創出し新しい視聴スタイルを実現した。



URL : Uniform Resource Locator

RZタグラーの概要

RZ Tagler of REGZA™ Apps Connect application offering new television viewing styles

● デジタルライフをサポートする“Toshiba Places”

2010年に立ち上げたToshiba Placesは、当社製品をより便利により楽しく利用するためのクラウドベースのサービスの総称であり、PCや、TV、タブレットといった様々な端末からコンテンツへアクセスできるサービスである。

電子書籍、動画、及び音楽コンテンツの配信拡充を地域に密着したパートナーと協業する形でサービスを展開する一方、コンテンツの新しい楽しみ方も提案した。中でも国内向け電子書籍サービスの“BookPlace(ブックプレイス)”で提供している当社独自の機能である“音声読み上げ機能”は、CEATEC JAPAN 2011において「米国メディアパネル イノベーション アワード(ソフトウェア分野)」を受賞した。



Toshiba Places (国内向け)のトップ画面

Top screen of Toshiba Places online content and services portal site for Japanese market